中国語の環

第125号

『中国語の環』編集室編　2024年1月

目次

9　**巻頭エッセイ**　終わりの合図

10　**中国語でどういう？**　あなたねあなた

11　**例文で説き（＝解き）ほぐす中国語文法**
Lesson 9　ペアを求めて…（その２）

12　**語彙学習の話**　中国語の形容詞について

13　**紛らわしい文法表現**　“Ｖ了”と“Ｖ完”

15　**看图学谚语**　絵で見ることわざ(15)

17　**中国語と文化**　日本と中国で違う李白の漢詩

18　**中国語の文法は面白い**　動詞はどんな時に重ねられるか（２）

19　**読者の広場**　『絵で見る慣用語』を読んで

ひとことエッセイ

前回の受験案内冊子にCHU犬として可愛い犬のイラストが載っている。CHU犬は説明するまでもなく，「忠犬」を「中検」に掛けたシャレである。

ところが，驚いたことに，これを見た気のおけない友人から「あれはよくない」とクレームが来た。中検のイメージを傷つけると言う。なんで？中国人は犬に対してあまり親近感を抱いていないのだと言う。言われてみれば思い当たらないでもない。

“**走狗**”（権力の手先)、“**狗腿子**”（同上)、“**狗男女**”（いかがわしい男女)、“**狗奴才**”（悪人の手先)、“**狗命**”（くだらない命）・・・・・・，挙げ出したらキリがない。

なぜ嫌われる？ 吠える、噛みつく、媚びる，・・・色々あるが，まず思い当たるのは“**狗改不了吃屎**”，これだ。犬は人糞を食うものと相場が決まっている。嫌われるわけだ。

一方，中国でも，テレビや雑誌にペットとしての犬がよく登場する。特に若い人に人気があるようだ。上のクレームをくれた友人は，日本での生活が長い年配者である。

犬に対するイメージにも世代差“**代沟**”が生じているのだろうか。　（上野　惠司）

発行　一般財団法人日本中国語検定協会

本誌掲載の記事，写真，イラスト等を無断で複製・複写・転載することを禁じます。

終わりの合図

前田　真砂美（奈良女子大学）

数年前の話です。夕方になると向かいの席のH先生がデスク周りを片付け，バッグを片手に問いかけてきます。“**前田老师，你还不走吗？**”その度に「もう少し残ります」「授業の準備ができていないので」などと適当に返すのですが，いつも歯切れのいいH先生が，この時は戸惑ったようにその場で固まるのが不思議でした。あるとき気づきました。H先生が待っているのは“**您先走吧。**”の一言であって，まだ帰らないとか授業の準備がまだだとか，そんなことはどうでもよかったのです。“**您先走吧。**”と言ってもらえれば，“**那我先走啦！**”でスッと帰れるのです。それをグダグダと残業の宣言をして，一体どういうつもりなのか。H先生はそんな気持ちだったかもしれません。“**你还不走吗？**”は「お仕事終わり」の合図でした。

上記は中国語での会話ですが，日本語でも似たようなことがあります。学生との面談で，ひととおり話したあとに「何か困っていることはありませんか」と尋ねます。日本人学生の反応は多くの場合，しばらく視線をさまよわせてからの「特にありません」か，履修や進路など，大学生活のなかで考えていることを話し出すかのいずれかです。これが来日直後の中国人留学生だと，少し違った反応になります。大抵の場合，一瞬目を丸くしたあと，日本は手続きが複雑だ，あちこちで書類を何枚も書かされる，アパートのキッチンが狭い，日本人の名前は読み方が難しい……と，思いつく限りの「困っていること」を並べてくれるのです。そんなときは，ああそれは確かに困りますねと相槌を打ちながら，会話の落としどころを探ります。

問題を抱えているなら教えてほしい（大学に関係ないことでも）というのが教員の本心であることを大前提として，「何か困っていることはありませんか」は「そろそろ面談終わります」の合図でもあります。美容院でシャンプーをしてもらっているときの「かゆいところはございませんか」に似ています。右耳の後ろがかゆいとか，いやいやそこじゃなくてもっと上だとか，もちろんそう訴えても構わない（と思う）のですが，「左足がかゆいです」はさすがに美容師さんも戸惑うでしょう。あくまで美容師さんの関わっている範囲内における要望の有無の確認であり，要望がなければそろそろシャンプーは終わりを迎えます。

疑問文が常に文字通りの疑問としての解釈を要求するわけではないことは，語用論の格好の例です。かゆいところの有無を尋ねつつその範囲が原則として頭部に限られるのも現場の状況に依存したものであり，「困っていること」を文字通り答えた留学生も，日本でしばらく暮らすと「大丈夫です」と先回りして返してくれるようになります。考えてみれば高度な推論がそこにはあります。中国語や日本語の日常会話において，どのような場面でどのように疑問文に返答しているか，注目してみるのも面白いかもしれません。

あなたねあなた

張　勤（中京大学）

失恋がテーマの《**你啊你**》という曲名の歌に次のような歌詞がある。

⑴**你啊你　拥有后就摒弃**（あなたねあなた　勝ち取ったらすぐ捨ててしまう）
你啊你　抛下所有回忆（あなたねあなた　すべての思い出を置き去りにする）
你啊你　你啊你（あなたねあなた　あなたねあなた）
游戏而已（ゲームにすぎない）
我想说（わたしは言いたい）
你啊你　你啊你（あなたねあなた　あなたねあなた）

歌詞にある“**你啊你**”からは薄情の“**你**”への愛と咎め，恨みが滲み出ている。

⑵A：**怎么还不到啊，我都走不动了。**（まだ着かないの，もう歩けない。）
B：**你啊你，叫你别来，偏要来。**（君ね君，来るなと言ったのに，どうしても来たいと言うから。）

⑶A：**这道数学题我不会。**（この数学の問題はわかりません。）
B：**你啊你，天天上补习班都学什么了？**（君ね君，毎日補習クラスに出て何を学んだの？）

程度の差はあるが，⑵と⑶の“**你啊你**”は⑴と同じく相手の状態や行動に対する不満やマイナス評価が表されている。この不満，マイナス評価は相手に対する期待を半ば諦めるニュアンスも伴っており，⑴にあるように，咎めや恨みがありながらも相手への溺愛を背後に持っているものである。このような意味から“**你啊你**”は相手への不満よりも，実際は相手への会心の理解を示す場合も多くある。

⑷**上小学了，父亲骑自行车接送我。回家的路上有个大坡，父亲弓着腰，蹬得很吃力，我在后座猫着腰，随车的节奏一耸一耸地向前使劲，父亲感叹：“你啊你。”**（小学校の時，父は自転車で送り迎えしてくれた。帰り道，大きな坂道があり，父は腰を曲げて苦しそうにペダルを漕いだ。後部座席で腰を曲げて乗っている私は，自転車のリズムに合わせ進む方向にぐいぐいと力んだ。父は「君ね君」と感嘆した。）

⑸**她的嗅觉好像完全失灵，温柔的白脸无一丝变色，细细的柳眉徐缓地舒展着，轻声说：“你啊你。我就这么一会儿不在，怎么就……”说着用纸去揩老翁的黄手。**（彼女の嗅覚は完全に失われたかのようで，穏やかな白い顔は表情一つ変えることなく，細い柳眉がゆっくりと伸び，「あなたねあなた。ちょっといなかっただけなのに，どうしてすぐに…」とそっと言いながら紙で老人の黄色くなった手を拭いた。）

⑷は父親が息子の心遣いに感動し，⑸は手を汚した被介護者へやさしいことばをかけており，相手の気持ちや行動に理解を示し，なだめている。

このように，“**你啊你**”は関係が親しい，気持ちを寄せている相手への感情を示し，実際の文脈においてさまざまな細かいニュアンスが表せる便利なひと言だ。

Lesson 9　ペアを求めて…（その２）

古川　裕（大阪大学）

中国語には単独＝シングルでは不自然なのに，ペア＝ダブルにすると安定して自然になるという傾向があります。その反映として，中国語にはペアすなわち「対（つい）」の形になっている表現が単語、フレーズ、そして文のレベルに至るまで数多く見られます。今回も実例を見ながら，中国語のペア表現を確認しましょう。

まず典型的なペアとして，反義語の組み合わせがあります。前回見た“**前：后**”の他にもたくさんの空間表現のペアが四字句や慣用的な表現を作っています。

⑴〔**前：后**〕**前因后果** qián yīn hòu guǒ（原因と結果，一部始終）
空前绝后 kōng qián jué hòu（空前絶後）
前言不搭后语 qiányán bù dā hòuyǔ（話のつじつまが合わない）
前事不忘后事之师 qiánshì bù wàng hòushì zhī shī（過去の過ちを後の戒めとする）

⑵〔**上：下**〕**上蹿下跳** shàng cuān xià tiào（あちこち走り回って画策する）
上有天堂，下有苏杭 shàng yǒu tiāntáng, xià yǒu Sū Háng（天に極楽があるように，地には蘇州杭州がある）
上有老，下有小 shàng yǒu lǎo, xià yǒu xiǎo（家族に世話をすべき老人と子供たちがいる）

⑶〔**左：右**〕**左邻右舍** zuǒ lín yòu shè（隣近所）
左思右想 zuǒ sī yòu xiǎng（あれこれ思いめぐらせる）
左顾右盼 zuǒ gù yòu pàn（きょろきょろ見る，右顧左眄する）

⑷〔**里：外**〕**里应外合** lǐ yìng wài hé（内外呼応する）
忙里忙外 máng lǐ máng wài（家の中でも外でも忙しい）
话里话外 huà lǐ huà wài（言外に意味がある）

⑸〔**南：北**〕**天南海北** tiān nán hǎi běi（地域が異なる，話にとりとめがない）
走南闯北 zǒu nán chuǎng běi（各地を遍歴する）
南腔北调 nán qiāng běi diào（各地の方言のなまり）

⑹〔**东：西**〕**东奔西跑** dōng bēn xī pǎo（東奔西走する）
东拼西凑 dōng pīn xī còu（あちこちから寄せ集める）
说东道西 shuō dōng dào xī（あれこれ話題にして話す）
东家长西家短 dōng jiā cháng, xī jiā duǎn（あれこれ噂話をする）

⑺〔**横：竖**〕**横七竖八** héng qī shù bā（縦横ばらばらで乱雑である）
横眉竖眼 héng méi shù yǎn（恐ろしい形相をする）
横挑鼻子竖挑眼 héng tiāo bízi shù tiāo yǎn（あれこれケチをつける）

次回は空間表現のほかに，いったい何と何がペアになるのかを見てみましょう。

中国語の形容詞について

沈　国威（関西大学）

中国語では，形容詞は動詞と同じく用言に属し，“**是**”（いわゆるコピュラ）なしに文中で述語として振る舞う一方，連体・連用修飾語や補語としても機能することができる。中国語の形容詞は，形状形容詞（**大、小、长、短**），性質形容詞（**热、重、早、静**），感覚形容詞（**热、凉、甜、闷**），心理形容詞（**美、丑、惨、狠**）に分類できる。形容詞は，程度副詞（**很、非常、十分**）の修飾を受けることができるが，目的語は取れない。一部の形容詞（特に二音節形容詞）は，“**方便群众**”、“**丰富生活**”のように目的語を従えるが，このような形容詞は形動兼類詞と呼ばれる。また“**男、女、金、银、国立、大型、共同、主要、慢性、新式**”等一部の形容詞は，名詞を修飾することしかできない。このような語は「属性詞」とも呼ばれる。属性詞の多くは程度副詞の修飾を受けられないが，構造助詞“**的**”を伴わずに名詞を直接修飾することができる。２字語の属性詞は20世紀以降に現れた新語が多く，その大半は日本語から借用したものである。形容詞は主に人や物の性質、属性、状態、特徴を表現するため，流行に非常に敏感である。人々は常に新しい形容詞を求めようとする傾向があり，“**棒、酷、囧、帅、宅、给力、卷**”などは最近特に流行った形容詞である。つまり形容詞の更新は大事である。

『国際中国語教育標準』には1,413語の形容詞が収録され，語長から見れば１字語は241（17.1％），２字語は1,143（80.9％），３字以上の語は29（2.1％）となっており，現代中国語の形容詞は１字語と２字語がメインであることが分かる。１字語形容詞は，２字語の名詞を修飾する際，“**大的学校**”、“**高的松树**”、“**贵的商品**”のように「的」を付ける形を取るが，“**大房间、新杂志、小汽车、好印象**”のように“**的**”を付けずに，直接２字の名詞と結合し，３字語になるケースも存在する。この場合，形容詞は接頭辞の役割を果たしていると言えよう。現代中国語ではこの１＋２のパターンが劇的に増加中で，中国語は２字語から３字語への転換期にあると言われる所以である。従って中国語の形容詞を効率的に習得するには，１字語と２字語の関連性を押さえることが重要である。というのは，両者は次のような語グループを形成し，豊かな修辞性を実現するからである。

大：　伟大　高大　广大　大　强大　重大　壮大　宏大　宽大　庞大　盛大　远大
贵：　昂贵　宝贵　富贵　高贵　金贵　可贵　名贵　珍贵　尊贵　贵重
深：　深奥　深厚　深刻　深切　深情　深入　深远　艰深　高深　精深

このように形容詞グループを形成する１字語，或いは語素には，“**长、久、重、新、丰、简……**”など他にも多数存在している。これは中国語の形容詞の重要な特徴である。共通の成分から出発し，意味の近い２字語に発展していくように心がけることは，語彙拡充の鍵である。詳細は拙著『語彙力の獲得』を参照されたい。

“V了”と“V完”

魯　暁琨（文京学院大学）

“V了”は動作の実現を表します。動作の実現には動作の開始，動作の途中，動作の完了のどれも含まれています。一方，“V完は動作の完了のみを表します。

⑴ではこの違いを示しています。

⑴**你做作业了吗？**（あなたは宿題をやりましたか。）

　做了，还没做完。（やりましたが，まだ終わっていません。）

例⑴では，“**做了**”はただ“**做**”という動作が始まりかつ途中まで進んでいることを表しますが，“**做完**”は“**做**”という動作が完了したことを表します。

このような違いがあると言っても，やはり両者とも動作の完了を表す場合が多いです。例えば，

⑵**我吃了饭，就去开会。**

　（わたしは食事をしたら，すぐ会議に行きます。）

⑶**我吃完饭，就去开会。**

　（わたしは食事を済ませたら，すぐ会議に行きます。）

例⑵⑶では“**吃了饭**”も“**吃完饭**”も“**吃饭**”という動作が完了したことを表します。食事の前に誰かに呼ばれた場合，⑵⑶のどちらを言ってもよく，“**吃了饭**”と“**吃完饭**”のニュアンスを無視してもかまいません。しかし，食事中に誰かに呼ばれた場合は，普通⑶を用い，⑵は用いません。これはなぜでしょうか。

“V了”も“V完”も動作の完了を表すことができますが，両者の捉え方が異なります。“V了”は動作をまとまった一つの事として，つまり「点」として捉えます。“V完”は動作を起動から終了までの一つの過程として，つまり「線」として捉えます。動作開始前はどちらの視点でもよく，⑵⑶とも言えます。「点」として捉える“V了”は動作の途中から終了まで表現できないため，食事中に誰かに呼ばれた場合は普通⑵とは言いませんが，「線」として捉える“V完”は線の任意の一点から終了まで表現できるため，食事中に誰かに呼ばれた場合は⑶と言います。

「点」として捉える“V了”の“V”は持続できる持続動詞でも，持続できない瞬間動詞でも，どちらも用いることができます。一方，「線」として捉える“V完”の“V”は動作の過程がある持続動詞は用いることができますが，動作の過程がなく起動と終了が重なっている瞬間動詞は用いることができません。

⑷**我下了课，去看电影。**（わたしは授業が終わったら，映画を見に行きます。）

　*__我下完课，去看电影。__

⑸**我上完课，去看电影。**（わたしは授業が終わったら，映画を見に行きます。）

“**下课**”は時間的な幅のない瞬間動詞なので，“**下了课**”とは言えますが，“**下完课**”とは言えません。“**上课**”は持続動詞なので，“**上完课**”と言えます。

「線」として捉える“**V完**”は動作の過程に焦点を当てることができます。

例えば，

⑹**水桶里的水一滴一滴地漏完了。**（桶の水は一滴一滴と全部漏れました。）

⑺**这本小说好不容易才看完。**（この小説はようやく読み終わりました。）

⑻**干完这些活儿得五天。**

（これらの仕事をやり終えるには5日間かかります。）

例⑹では“**一滴一滴地**”は“**漏**”の過程について描写し，⑺では“**好不容易才**”は“**看**”の過程について説明し，⑻では“**得五天**”は動作の開始から終了までの全過程にかかった時間を言っています。どれも動作の過程に着目しているので，“**V完**”を用いることはできますが，“**V了**”を用いることはできません。さらに，下記の二文を比較してみましょう。

⑼**硕士论文三年才写完。**

（修士論文は３年間にかけてやっと書き終わりました。）

⑽**硕士论文写了三年。**

（修士論文は３年間で書き終わりました。）

両方とも修士論文にかけた時間は３年間だと言っています。状況語である“**三年才**”は一年また一年のような“写”の時間経過に着目していますが，補語である“**三年**”はまとまった時間を言うだけです。

「線」として捉える“**V完**”は動作の終点まで表すことができるため，動作の終了時刻を表すときには，“**V完**”だけが用いることができます。例えば，

⑾**我们俩看完电影都11点了。**

（わたしたち二人が映画を見終わったのはもう11時でした。）

⑿**大家边喝边聊，吃完饭都两点了。**

（みんな食事しながらおしゃべりして，食事が終わったのはもう２時でした。）

⒀**这项工作上星期就干完了。**

（この仕事は先週もうやり終えました。）

“**V了**”と“**V完**”の「点」と「線」の区別によってカバーした時間範囲が異なる場合もあります。例えば，

⒁**过了年再说吧。**（正月が過ぎてからにしましょう。）

⒂**过完年再说吧。**（正月休暇が過ぎてからにしましょう。）

例⒁の“**过了年**”は普通，旧暦つまり春節の１月１日が過ぎた後だと理解されますが，⒂の“**过完年**”は普通１月５日までの正月休暇が過ぎた後だと理解されます。

以上，意味から“**V了**”と“**V完**”の使い分けを探りましたが，両者は構造上は，まったく異なります。“**V了**”は「動詞+動態助詞」で「述語」として用いられますが，“**V完**”は「動詞+結果補語」として用いられます。それによって違いが生じます。例えば，“**V完**”には“**V得完**”“**V不完**”のような可能補語表現もありますが，言うまでもなく“**V了**”にはこのような表現はありません。

絵で見ることわざ(15)

絵　張　恢
文　『中国語の環』編集室

宰相肚里能撑船

zǎixiàng dùli néng chēng chuán

宰相の腹はその中で船が漕げるほど大きい。；修養の出来た人は度量が大きく寛容である。多く，人に自制するように勧める場合に用いる。

在家靠父母，出外靠朋友

zàijiā kào fùmǔ, chūwài kào péngyou

家では父母に頼り，外では友人に頼る；何と言っても，両親と友達がいちばん頼りになる。“**靠父母**”は“**靠爹娘**”，“**出外**”は“**出门**”とも。

早吃好，午吃饱，晚吃少

zǎo chīhǎo, wǔ chībǎo, wǎn chīshǎo

朝はご馳走を，昼は腹一杯，夜は少なめに食べるのがよい。よく“**～，身体好**”と続けて使われる。“**早餐吃得好，午餐吃得饱，晚餐吃得少**”とも。

贈人玫瑰，手留余香

zèng rén méikui, shǒu liú yúxiāng

人によい贈り物をすれば，自分もよい気分でいられる。人に親切にしておけば，必ずよい報いがある。情けは人の為ならず。

站得高，看得远

zhànde gāo, kànde yuǎn

高い所に立てば遠い所が見える；高い眼識を有している人は遠い先を見通すことができる。大所高所から問題を判断すれば良い結果が得られる。

站如松，走如风

zhàn rú sōng, zǒu rú fēng

松のようにまっすぐに立ち，風のように速やかに行動する。常住坐臥，正しい姿勢を保つべきである。“**站如松，行如风，坐如钟，卧如弓**”とも。

这山望着那山高

zhè shān wàngzhe nà shān gāo

この山から見ればあの山は高い；他人のものは何でもよく見える。隣の芝生は青い。類義のことわざに“**家花不如野花香**”がある。

知己知彼，百战百胜

zhī jǐ zhī bǐ, bǎi zhàn bǎi shèng

己（おのれ）を知り彼を知らば，百戦危うからず；敵を知り己を知っていれば，何回戦っても負けることはない。『孫子』謀攻に見える語。

只要功夫深，铁杵磨成针

zhǐyào gōngfu shēn, tiěchǔ móchéng zhēn

ひたすら努力しさえすれば，鉄の棒も研いで針にすることができる；うまずたゆまず努力を重ねれば何事も成就する。成語“**铁杵磨针**”に同じ。

纸里包不住火

zhǐli bāobuzhù huǒ

紙で火を包み込むことはできない；真相はいつまでも隠し通すことができない。事実は人の目を欺くことはできない。隠し事は必ず暴露される日が来る。

众人拾柴火焰高

zhòngrén shíchái huǒyàn gāo

大勢で薪を拾って燃やせば炎は高くなる；みんなが力を合わせれば大きな仕事を成し遂げることができる。“**拾柴**”は“**捡柴**”“**搂柴**”“**捧柴**”とも。

种瓜得瓜，种豆得豆

zhòng guā dé guā, zhòng dòu dé dòu

瓜（うり）を植えると瓜がなり，豆を植えると豆がなる；善い行いには善い報いがあり，悪い行いには悪い報いがある。因果応報である。

日本と中国で違う李白の漢詩

加藤　徹（明治大学）

唐の詩人・李白（701年-762年）の漢詩「静夜思」は，日本でも中国でも，学校の生徒が学ぶ教科書によく採られている。ただし，日中両国の教科書に載せる字句には異同がある。日本の生徒が教科書で学ぶ「静夜思」は，

牀前看月光	牀前，月光を看る
疑是地上霜	疑ふらくは是れ地上の霜かと
挙頭望山月	頭を挙げて山月を望み
低頭思故郷	頭を低れて故郷を思ふ

であり，中国の子どもが学校の授業で学ぶ《**静夜思**》jìng yè sī は，

床前明月光	chuáng qián míng yuè guāng
疑是地上霜	yí shì dì shàng shuāng
举头望明月	jǔ tóu wàng míng yuè
低头思故乡	dī tóu sī gù xiāng

である。

日本版は「看月光」「望山月」だが，中国版は“**明月光**”，“**望明月**”だ。

一般的な説では，「山月」バージョンが李白のオリジナルで，「明月」バージョンは16世紀，明の時代から広まった後世の改作とされる。一説に，李白本人が何度も推敲と改作を重ねた結果，「山月」「明月」など複数のバージョンが後世に伝わった，と推測する学者もいる。

真相はさておき，私が注目するのは，両詩の月光の「まぶしさ」の違いだ。

中国版の“**床前明月光**”「ベッドの前に差し込む明月の光」は，しぜんに目に入る。明るい月光だ。また“**举头望明月**”で，月を見上げる場所は，どこでもよい。異国の下宿，田舎の宿屋，旅の船の客室，大都会の住宅。どこで夜空を見上げても“**举头望明月**”だ。異郷で暮らす中国人が，わが身に寄せて口ずさむのにふさわしい。

これに対して“**山月**”バージョンには日本人好みのわびしさがある。ベッドの前で，月明かりに輝く床を，じっと見つめる。見つめられるていどの明るさだ。また「山月」も日本人の望郷心をくすぐる。日本は，関東平野や北海道などをのぞき，どこでも山が目に入る。阿倍仲麻呂も「三笠の山に出でし月かも」云々と詠んだ。李白の「静夜思」の字句が，日本と中国の流布本で違う理由は，日本人と中国人の好みの差異も一因となっているのであろう。

動詞はどんな時に重ねられるか(2)

王　志英（沖縄大学）

２．話し手が聞き手に依頼をする場合

聞き手に依頼をする場合，聞き手の負担を軽減するため，動作の完了・終了を明示しない。よって，その動詞は重ねられる。

⑴ａ＊**他收了收张家的电费。**

ｂ　**你去收收张家的电费。**

３．“**～看，～试试**”の意味がある場合

動詞の後に“**～看，～试试**”をつけられる文であるならば，その動詞はたいてい重ねられる。「試す」ということ自体は結果を含意しない繰り返す行為を要求するからである。

⑵**这出戏你来演演看。**

⑶**你们都穿不上这件衣服的话，我来穿穿试试。**

“**～看，～试试**”があれば，非持続性の動詞“**穿**”は，試すために同じ動作を何回も繰り返すことが許され，重ねられるのである。

心理活動を表す動詞は重ねられないが，“**～看，～试试**”は「主体の意志的なもくろみを表す」（森山1988：209）ため，一緒に使うと，重ねられる場合がある。

⑷**你爱爱他试试，有你受的。**

４．話し手の願望を表す形式“**我想～**”

⑸ａ＊**都六点了，我们一起去吃吃饭。**

ｂ　**我想吃吃你做的饭。**

“**我想～**”があれば，全体として願望という非現実モードになる。一通り完了する動作を表す“**吃饭**”は重ねられないが，“**我想～**”との共起によって，もくろみという意味が生まれ，重ねられるようになる。

５．非意図性の動詞を使役表現にする場合

非意図性の動詞が使役文に使われると，意図性を持ち，重ねられるようになる。

⑹ａ＊**他知道知道我的厉害。**

ｂ　**让他知道知道我的厉害。**

⑺ａ＊**他病病。**

ｂ　**让他病病，他就知道生病的滋味了。**

中国語の動詞の重ね型を考えるには個別的な語彙意味からではなく，文レベルまで視点を置いて考えなければならない。動詞と目的語，補語，及び修飾語との関連で表される文に限界性があるか否かが，動詞を重ねられるかどうかと関連する。依頼，もくろみ，願望，使役の場合は動作・行為の結末は未完了か動作の量を相手に委ねているので，重ねられない動詞が重ねられるようになる場合が多い。

『絵で見る慣用語』を読んで

板垣　友子（順天堂大学）

中国語学習の最後のハードルは「故事・ことわざ・慣用語」の３つであろう（個人の感想です）。三省堂の『故事ことわざ・慣用句辞典』によると，「中国の古典に基づく『故事』，古くから言いならわされてきた『ことわざ』，言葉の決まった結びつきによってある特別の意味を表す『慣用句』がある」とされるが，中国語では「慣用句」ではなく，“**惯用语**”と呼ばれる。

このほど『中国語の環』に連載されていた『絵で見る慣用語』が小冊子として刊行された。この『絵で見る慣用語』は，更にいま連載中の『絵で見ることわざ』と先に刊行された『絵で見る成語』とを併せて合冊本として刊行される予定という。

わざわざこれらの本が刊行されるということは……そう，「試験に出る」から!! 中検３級の試験ではあまり出てこない「故事・ことわざ・慣用語」が２級の試験になると，いきなり頻出されるのは本当に悩ましい。２級を受験するためには，ある程度「故事・ことわざ・慣用語」を覚えておかなければならないのだ。

このうち慣用語は「２つ以上の単語が結合し，ひとまとまりとして特定の意味を表すもの」で，日本語でも「猫に小判」「猫の手も借りたい」「猫のひたい」など多く日常的に用いられている。日本の小学校で習う慣用句も700以上あるという。

もちろん中国語のなかにも慣用語は大変多く存在している。そのなかでも「試験に出そう(?)」な慣用語266語が今回の『絵で見る慣用語』に収められている。恥ずかしながら，大学で中国語を教えているのにもかかわらず，この中には初見のものもけっこうあった。

日本語と同様，けなす意味合いの言葉“**贬义**”が多いので，学習がかなり進まないと使う場面には遭遇しないし，使いこなすのも難しい。もちろん褒める意味の語もあるが，ただ訳語を見ただけではどんな場面で使われるかは判断しにくい。『絵で見る慣用語』には多くにイラストも付いており，場面がイメージしやすくなっているし，「例文」もあるので使い方もわかる。“**出洋相**”（醜態を演じる）の例文“**她出了不少洋相**”（彼女はさんざん醜態を演じた）では，動詞と目的語の構造がはっきりわかり助けられる。

中に“**刀子嘴，豆腐心**”（口は悪いが気はやさしい）があった。これは良い意味で使われる。同じ漢字を使っていても読み取りが難しいのが日中両国語だ。「豆腐」のイメージ「柔らかい」は日中共通であろうが，日本語では「豆腐メンタル」（メンタルが弱い）など，良い場面で使われていないこともある。「柔らかい」が「やさしい」につながるのが中国の文化なのだろうか。

最後にお気に入りを。“**化干戈为玉帛**”（矛と盾を収め玉石・絹に変える＝戦争をやめて講和する）。日中間で対立が続くが，経済交流から関係改善を模索してほしい。